「令和6年度 森林及び林業の動向」資料一覧

特集	生物多様性を	高める林業経	営と木材利用
אניו	エルクルエヒ		

資料 特-1	生物多様性の3つのレベル	4
資料 特 - 2	森林の有する多面的機能と生態系サービスの関係	5
資料 特 - 3	「昆明・モントリオール生物多様性枠組」における主な森林関係部分の概要	
資料 特-4	自然共生サイトの認定を受けた森林	7
資料 特-5	我が国の森林面積の推移	ç
資料 特-6	我が国の森林植生の分布	ç
資料 特-7	全国の森林の優占樹種による森林生態系タイプ区分	10
資料 特-8	世界自然遺産に登録されている原生的な天然林	11
資料 特-9	森林における樹種構成の日欧比較	12
資料 特-10	初代保護林(天然ヒノキ林)	13
資料 特-11	緑の回廊	
資料 特-12	流域レベルでの多様な森林の配置のイメージ	16
資料 特-13	国有林野において保護に取り組んでいる希少な野生生物	18
資料 特-14	里山林の景観	18
資料 特-15	ナラ枯れ被害のみられる里山林	
資料 特-16	里山林の整備・活用を通じた生物多様性の確保	
資料 特-17	「赤谷プロジェクト」におけるイヌワシの狩場創出	
資料 特-18	森林におけるシカの分布域の拡大	
資料 特-19	治山事業による荒廃地の緑の復元	
資料 特-20	治山事業における生物多様性保全の取組	
資料 特-21	「森林管理における生物多様性保全の取組手法例」の概要	
資料 特-22	森林施業における生物多様性の確保の実践例	29
資料 特-23	国有林野の森林施業における生物多様性への配慮の取組例	
資料 特-24	生物多様性の把握に資するアプリの例	
資料 特-25	持続可能な木材利用推進に関する企業の取組	
資料 特-26	企業の「建物の木質化」等に関する情報開示例	35
第 章 森林	の整備・保全	
資料 -1	人工林の齢級構成の変化	48
資料 1-2	森林面積の内訳	48
	森林に期待する働きの変遷	
資料 - 4	我が国の二酸化炭素吸収量(令和 5 (2023)年度)	50
資料 1-5	森林・林業基本計画における森林の有する	
	多面的機能の発揮に関する目標	51
資料 1-6	森林・林業基本計画における木材供給量の目標と総需要量の見通し	51
資料 1-7	森林・林業基本計画のポイント	52
資料 1-8	全国森林計画における計画量	53

資料 1-9	森林整備保全事業の実施の目標と成果指標	53
資料 Ⅰ-10	開発された遠隔操作林業機械の例	54
資料 Ⅰ -11	森林整備の実施状況(令和 5 (2023)年度)	57
資料 Ⅰ-12	人工造林面積と省力・低コスト造林実施面積の割合の推移	
資料 Ⅰ-13	苗木の生産量の推移	61
資料 Ⅰ -14	特定母樹の指定状況	61
資料 Ⅰ-15	特定苗木の樹種別生産実績(令和 5 (2023)年度)	62
資料 Ⅰ-16	花粉発生源となるスギ人工林の将来像	62
資料 Ⅰ-17	花粉発生源の減少に向けた取組	63
資料 Ⅰ-18	花粉の少ないスギ苗木の生産量等の推移	64
資料 Ⅰ-19	路網整備における路網区分及び役割	
資料 1-20	林内路網の現状と整備の目安	
資料 Ⅰ-21	森林環境譲与税の活用状況	
資料 Ⅰ-22	第74回全国植樹祭(岡山県)	
資料 Ⅰ-23	企業による森林づくり活動の実施箇所数の推移	71
資料 1-24	森林管理プロジェクトの登録件数及びクレジット認証量の推移(累計)…	
資料 Ⅰ-25	漫画を活用した森林・林業の発信	76
資料 Ⅰ-26	保安林の種類別面積	
資料 Ⅰ-27	山地災害等に伴う被害の推移	
資料 Ⅰ-28	主要な野生鳥獣による森林被害面積(令和 5 (2023)年度)	
資料 Ⅰ-29	松くい虫被害量(材積)の推移	
資料 Ⅰ-30	ナラ枯れ被害量(材積)の推移	
資料 Ⅰ-31	林野火災の発生件数及び焼損面積の推移	
資料 1-32	世界の森林面積の変化(1990-2020年)	
資料 1-33	モントリオール・プロセスの 7 基準54指標(2008年)	
資料 1-34	主要国における認証森林面積とその割合	92
資料 Ⅰ-35	我が国におけるFSC及びSGECの認証面積の推移	
資料 Ⅰ-36	パリ協定の概要	
資料 1-37	我が国の温室効果ガス排出削減と森林吸収量の目標	94
資料 1-38	独立行政法人国際協力機構(JICA)を通じた	
	森林・林業分野の技術協力プロジェクト等(累計)	97
笙Ⅱ音 林業	と山村(中山間地域)	
資料 II - 1	本業産出額の推移	100
資料 Ⅱ - 2	国産材の素材生産量の推移····································	
資料 Ⅱ - 3	全国平均山元立木価格の推移	
資料 - 4		
資料 Ⅱ - 5	林家の規模別保有山林面積の推移 ····································	
資料 II - 6	林業経営体数及び保有山林面積の推移	
資料 Ⅱ - 7	林業経営体数の組織形態別内訳	

資料 Ⅱ - 8	組織形態別の作業面積の推移	104
資料 - 9	生産形態別及び組織形態別の素材生産量	104
資料 Ⅱ -10	素材生産量規模別の林業経営体数等の推移	105
資料 Ⅱ -11	組織形態別の素材生産量等の推移	105
資料 Ⅱ -12	総事業取扱高別の森林組合数及び割合	106
資料 Ⅱ -13	「2025国際協同組合年」のロゴマーク入り木製バッジ	108
資料 Ⅱ -14	林業従事者数の推移	109
資料 Ⅱ-15	年齢階層別の林業従事者数の推移	110
資料 Ⅱ-16	新規就業者数(現場技能者として林業経営体へ	
	新規に就業した者の集計値)の推移	
資料 Ⅱ-17	林業の労働災害発生件数の推移	
資料 Ⅱ-18	森林組合の雇用労働者の年間就業日数	114
資料 Ⅱ-19	森林組合における女性の正組合員数及び	
	女性役員が配置されている森林組合数	
資料Ⅱ-20	現在の主伐と再造林の収支イメージ	
資料 Ⅱ -21	森林クラウドを活用した森林施業の集約化のイメージ	
資料Ⅱ-22	「新しい林業」に向け期待される新技術	
資料 Ⅱ -23	令和 6 (2024)年度のデジタル林業戦略拠点取組地域の概要	
資料 Ⅱ -24	きのこ類の国内生産量の推移	
資料Ⅱ-25	きのこ類の輸出量の推移	
資料Ⅱ-26	木炭の国内生産量の推移	
資料 Ⅱ -27	販売向け薪の国内生産量と価格の推移	
資料 Ⅱ -28	竹材の国内生産量の推移	
資料 Ⅱ -29	漆の国内生産量の推移	
資料 Ⅱ -30	消滅集落跡地の森林・林地の管理状況	130
資料 Ⅱ -31	山村地域の集落で発生している問題上位10回答(複数回答)	
資料 Ⅱ -32	地方移住に関する相談・問合せ数	
資料Ⅱ-33	森林空間利用に対するニーズ(複数回答)	134
学川辛 十 廿	南公・利田と土社会業	
	需給・利用と木材産業 世界の産業用丸太消費量の推移 ····································	120
資料 Ⅲ - 1 資料 Ⅲ - 2	世界の木材(産業用丸太・製材・合板等)輸入量(主要国別)	
資料 Ⅲ − 3	世界の木材(産業用丸太・製材・合板等)輸出量(主要国別)	
資料 Ⅲ − 3	本材需要量の推移····································	
資料 Ⅲ − 5	木材供給量と木材自給率の推移 ····································	
真科 Ⅲ − 5 資料 Ⅲ − 6	- 不例供和重と不例日和率の推修	
資料 Ⅲ − 7	帝和 5 (2023)年の木材需給の構成 ····································	
真科 Ⅲ - 1 資料 Ⅲ - 8	予和 5 (2023)年の不利需和の構成 ····································	
真科 Ⅲ − o 資料 Ⅲ − 9	我が国の不例価格の推修	
資料 Ⅲ − 10		
貝付 Ⅲ - 10	/旧*水作) 川 ツ	130

資料 Ⅲ -11	新築着工建築物の床面積	151
資料 Ⅲ-12	新設住宅着工戸数と木造率の推移	
資料 Ⅲ-13	建築用製材における人工乾燥材の割合	153
資料 Ⅲ-14	木造軸組住宅の部材別木材使用割合(大手住宅メーカー)	153
資料 Ⅲ-15	木造軸組住宅の部材別木材使用割合(工務店)	154
資料 Ⅲ-16	低層非住宅の規模別着工床面積と木造率	154
資料 Ⅲ-17	木材利用の事例	
資料 Ⅲ-18	建築物木材利用促進協定の代表的な形態	
資料 Ⅲ-19	事業者等と国との協定締結の実績(令和 6 (2024)年度締結分)	159
資料 Ⅲ-20	協定により建設された建築物の例	
資料 Ⅲ-21	ガイダンスにおける建築物への木材利用に係る評価の全体像	161
資料 Ⅲ-22	建築物全体と公共建築物の木造率の推移	162
資料 Ⅲ - 23	公共建築物等における木材の利用の促進に関する	
	法律制定後の施策の推進状況	
資料 Ⅲ-24	改質リグニンの社会実装に向けた今後の展開方向	
資料 Ⅲ-25	燃料材の国内消費量の推移	
資料 Ⅲ-26	事業所が所有する利用機器別木質バイオマス利用量	
資料 Ⅲ-27	木材利用普及を目的としたロゴマーク	
資料 Ⅲ - 28	国産材の使用状況や炭素貯蔵量の可視化を目的としたロゴマーク	
資料 Ⅲ-29	森林の環応援団の活動内容	
資料 Ⅲ-30	ウッドデザイン賞2024優秀賞の例	
資料 Ⅲ-31	我が国の木材輸出額の推移	
資料 Ⅲ-32	木材・木製品製造業の生産規模の推移	
資料 Ⅲ-33	製材工場の規模別工場数と国産原木消費量	177
資料 Ⅲ-34	合板工場の規模別工場数と国産原木消費量	178
資料 Ⅲ-35	製材・合板工場等の分布	
資料 Ⅲ-36	製材・合単板工場等への原木流通の現状	
資料 Ⅲ-37	丸太末口直径別の供給量の推計	
資料 Ⅲ - 38	製材工場の出力規模別の原木消費量の推移	
資料 Ⅲ-39	国内の製材工場における製材品出荷量(用途別)の推移	
資料 Ⅲ-40	国内の製材工場における原木入荷量と国産材の割合	
資料 Ⅲ-41	集成材の供給量の推移	
資料 Ⅲ-42		
資料 Ⅲ - 43	木材チップ用原木入荷量の推移	189
	林野の管理経営	
	国有林野の分布	
	国有林が果たすべき役割(複数回答)	
	機能類型区分ごとの管理経営の考え方	
沓料 IV – 4	「保護林」と「緑の回廊」の位置図	198

資料 IV − 5	我が国の世界自然遺産の陸域に占める国有林野の割合	199
資料 IV - 6	国有林野におけるコンテナ苗の植栽面積の推移	201
資料 IV - 7	樹木採取権の設定及び新たな樹木採取区の指定箇所	202
資料 IV - 8	国有林野からの素材販売量の推移	203
資料 IV - 9	森林共同施業団地の設定状況	203
資料 IV−10	「レクリエーションの森」の設定状況	207
資料 IV-11	「日本美しの森 お薦め国有林」の例	208
第Ⅴ章 東日	本大震災からの復興	
	東日本大震災による林野関係の被害	
資料 V-2	福島県の森林内の空間線量率の推移	214
資料 V-3	里山・広葉樹林再生プロジェクトの目指す原木林の循環利用のイメージ	216
資料 V − 4	東日本地域(北海道を除く17都県)におけるしいたけ生産量の推移	217